

学生各位

青森公立大学 学長 香取 薫

青森公立大学の学生のコロナ対策について **【2022 秋学期版】**

新型コロナウイルス感染症については、**全国的に新規陽性者数が減少傾向にあります**が、引き続き感染防止対策を徹底し、自己管理に努めてください。

また、コロナ対策の長期化により気の緩みが指摘されていますが、マスク（「不織布」を推奨）の「正しい着用」も意識してください。

【基本的な対応】

- 大学内外を問わず、必ず正しくマスク（「不織布」を推奨）を着用すること。
- 規則正しい生活を送り、毎日検温するなど体調管理に努めるとともに感染症対策を徹底すること。
- 下記に該当する方は通学を控え、事前に事務局に連絡すること。
 - ・感染した方、感染者との濃厚接触（疑いを含む）がある方
 - ・熱、のど、せきなど具合が悪い方
- 感染症患者が多数発生している地域との往来については慎重に判断すること（ただし、就職活動を除く）。
 - （移動した場合） ・移動先では不要不急の外出を控えるなど感染対策を徹底すること。
 - ・帰青後1週間程度は、感染対策を徹底し、人との接触を最小限にとどめること。
- 大学内外を問わず、食事をする際は「黙食」、会話時は「マスク着用」を心がけること。
- 友人等多人数での集団旅行や、いわゆる宅飲み等、感染リスクの高い行動はしないこと。
- イベント等に参加する場合は、人混みを避け、感染リスクが高まる行動は控えること。
- 日々ホームページ及びメールを確認すること。

【授業における対応】

- 講義室に入室する前に消毒液で手指の消毒を行うこと。
- 授業中は教員からの指示がない限り発声しないこと。
- グループ討論を伴う授業では、必ずマスクを着用するとともに間隔に注意すること。
- 講義室の換気を必要に応じて行うので、室温の変化に対応できるよう準備すること。

【大学生活における対応】

- 休み時間や昼食時、図書館等を利用する際は、接近して対面に座らず、近距離で会話しないこと。
- 通学する際にはできるだけ混雑するバスを避け、受講する授業に合わせて遅刻しないように時差通学すること。

【サークル活動】

感染状況は引き続き留意が必要な状況にありますので、活動の可否や条件等については各サークル代表者を通じてお知らせします。

- 練習以外の打合せ等においても基本的な感染対策を怠らないこと。

【アルバイト】

- 感染防止対策を適切に行っている事業者を選び、その感染防止対策に従うこと。

新型コロナウイルス感染症の相談窓口（青森県）

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/covid-19_influ_jyushin.html

青森県民の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止

基本的な感染防止対策を徹底
感染しない・させない行動を!

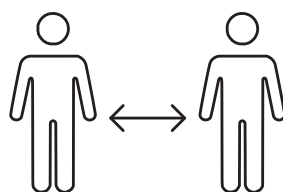


マスクの適切な着用

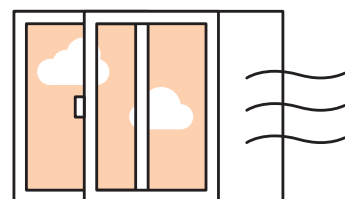
(不織布マスク等を利用)



手洗い・手指消毒



人との距離の確保



こまめな換気

具合が悪い時は、
出勤・登校・外出を
控えましょう。



具合が
悪いので
今日はお休み
します

新型コロナウイルス
感染症

+

季節性
インフルエンザ

ワクチン接種をご検討ください。

令和4年10月14日版

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

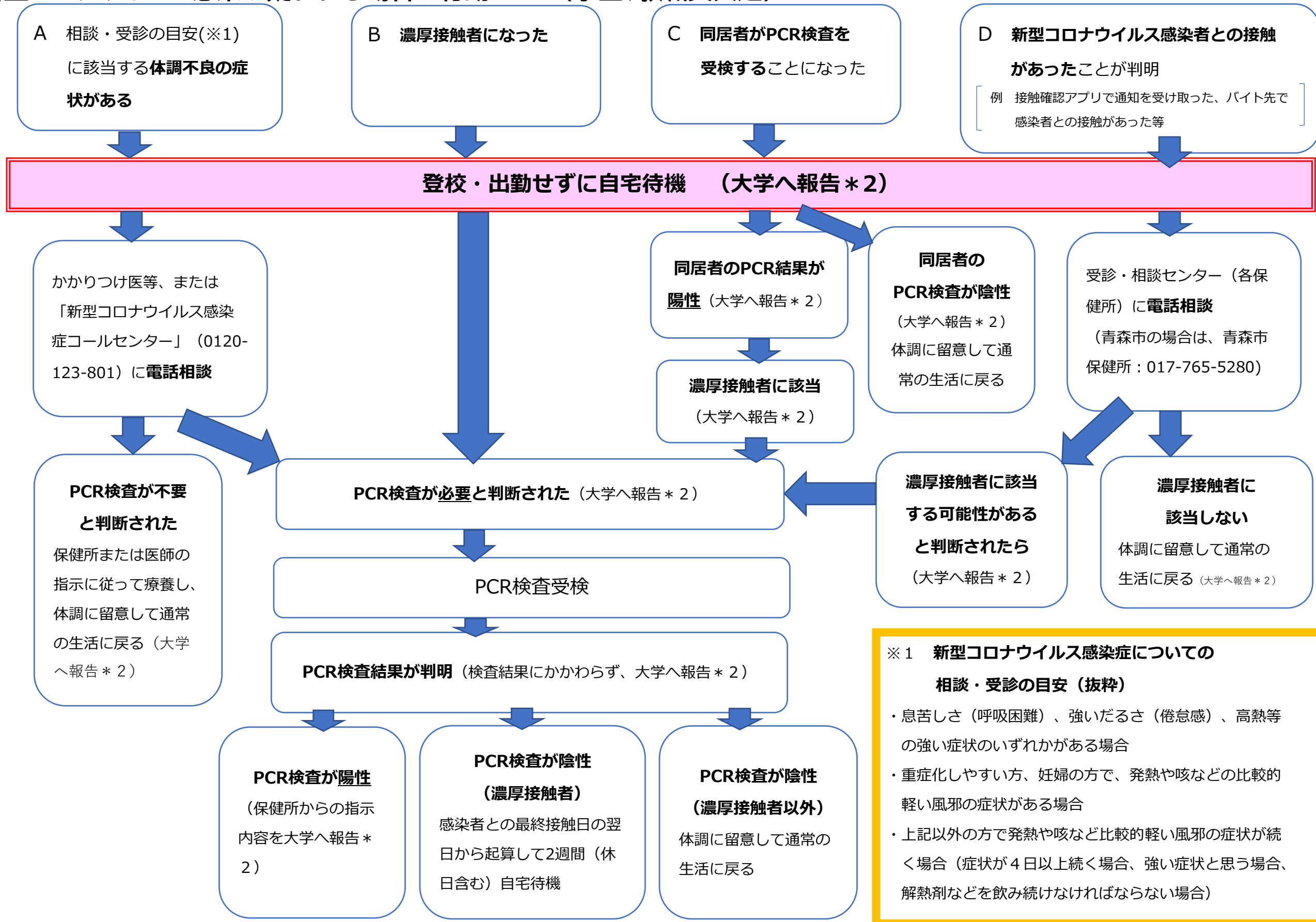
- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



【感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫（分科会からの提言）】

- 飲食するのであれば ①少人数・短時間で、
②なるべく普段一緒にいる人と、
③深酒・はしご酒はひかえ、適度な酒量で。
- 箸やコップは使いまわさず、一人ひとりで。
- 座の配置は斜め向かいに。（正面や真横はなるべく避ける）
- 会話をするときにはなるべくマスク着用。
- 換気が適切になされているなどの工夫している、ガイドラインを遵守したお店で。
- 体調が悪い人は参加しない。

新型コロナウイルス感染が疑われる場合の行動フロー(学生、教職員共通)



**※1 新型コロナウイルス感染症についての
相談・受診の目安(抜粋)**

- ・息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方、妊婦の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合(症状が4日以上続く場合、強い症状と思う場合、解熱剤などを飲み続けなければならない場合)